

# こよう家だより



高知市立江陽小学校 学校通信

令和5年6月5日(月)発行 No.7



## SNS学びの週間スタート

江陽小学校では、昨年度から6月を中心に「SNS学びの週間」と題して、「SNSとの向き合い方」について学ぶ期間を設定しています。スマートフォンやコンピュータなどは便利さとともに、使い方によってはマイナスの影響を及ぼすこともあります。

次に示したグラフは、文部科学省が毎年、スマートフォンやコンピュータの使い方について調査・発表しているものです。令和4年度の全国学力・学習状況調査(文部科学省)における質問紙調査結果と、国語・算数(小6と中3対象、中学校は数学)の正答率との関連について分析が行われています。

これによりますと、小学生・中学生ともに、1日当たりのゲームの時間が長いほど、各教科の平均正答率が低い傾向(資料1から)がみられます。同様に、1日当たりのSNSや動画視聴などを行う時間が長いほど、各教科の平均正答率が低い傾向があることも示されました。

また、「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか」との質問に、「きちんと守っている」「だいたい守っている」と回答した小学生の割合は約72%、中学生の割合は約70%で、昨年度と比較して横ばい(資料2から)でした。

これらの結果から、「SNSとの向き合い方」が、子どもたちの生活習慣や学力の定着に関連があることと、ご家庭での働きかけと合わせて、学校においても系統的に学習することの必要性があることが分かります。

こうした課題を受けて、「SNS学びの週間」においては、1年生から6年生まで、それぞれの発達段階に即して、生活リズムとゲームや動画視聴との関係、情報モラルや個人情報の取り扱いなどについて、道徳、学級活動、保健の時間を中心に学習を行います。ぜひ、この時期にご家庭でもゲームの時間などについて話し合ってみてください。

←資料として、このリーフレットをお届けします。

内閣府・内閣府・警察庁・消費者庁・経済産業省・国土交通省・文部科学省・厚生労働省・環境省・国土交通省 2021年1月発行

ネット・スマホのある時代の子育て

正しく保護者が知っておきたい4つの大切なポイント

児童・生徒編

学習面での活用が急増してきたインターネットやスマートフォン。コミュニケーションや勉強や生活をサポートする道具だからこそ、トラブルを避けて上手に使いこなすスキルを身につけてほしいものです。

POINT1 長時間利用の中心に「着目!」

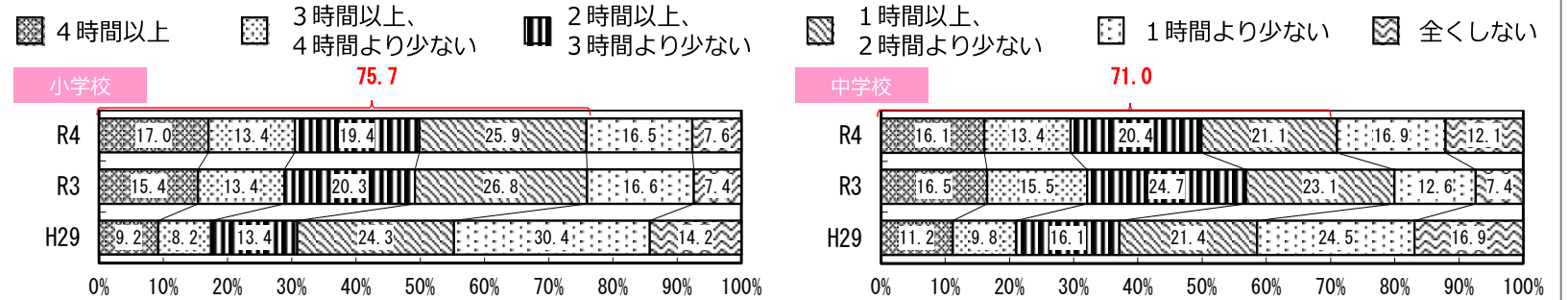
POINT2 SNSで誹謗中傷? いじめ?

POINT3 写真・動画の安易な投稿が危険を招く!

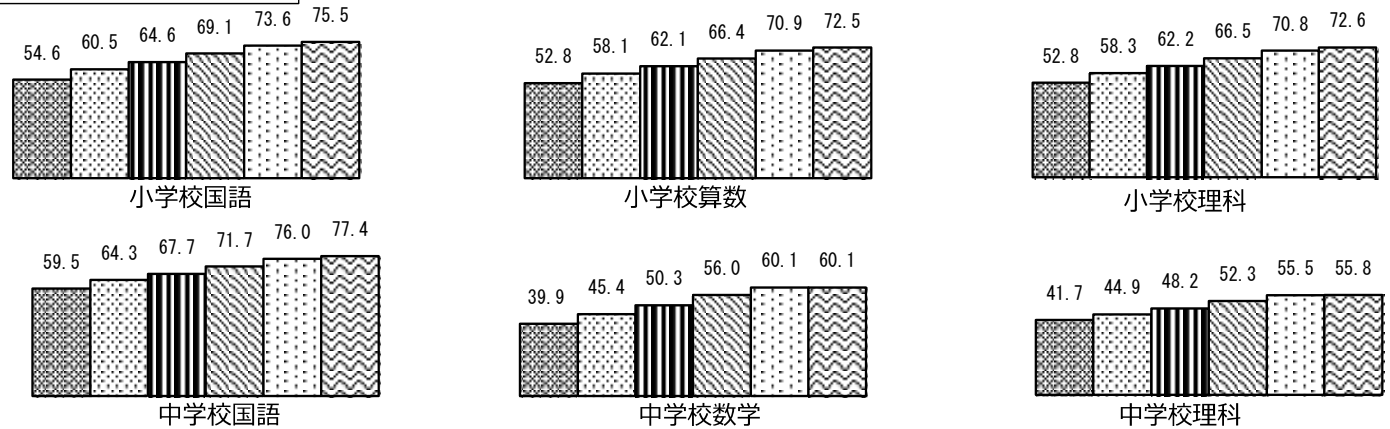
POINT4 子供たちの使い方やネットトラブルの現状を知り、助言や話し合いの場にお立てください

### 資料1

【児童生徒質問紙】 普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか。

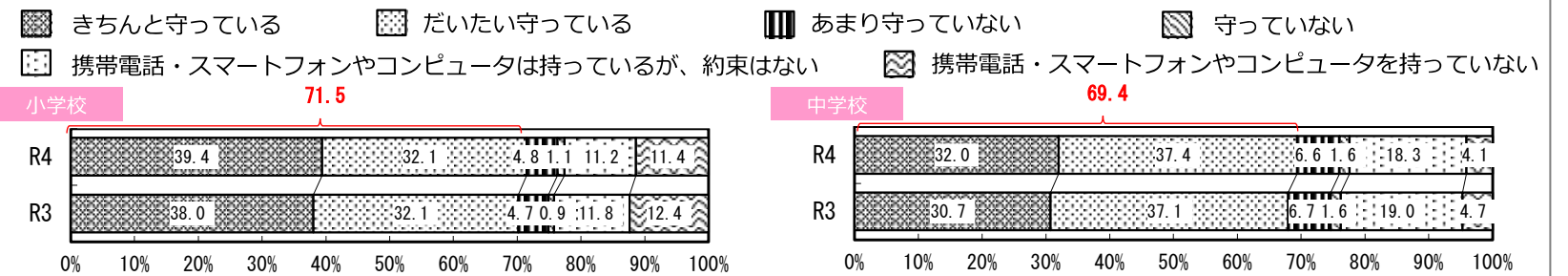


### 選択肢ごとの教科の平均正答率



### 資料2

【児童生徒質問紙】 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。



## 授業におけるタブレット活用

1人1台タブレットを効果的に使って、授業における学びを深めている様子を紹介します。写真1は2年生の生活科の授業で、自分が育てたい植物の苗のことを調べたり、成長の様子を記録したりしているところです。写真2は5年生の理科で、実験前に立てた予想と結果を比べているところです。写真3は6年生の社会で、グループで考えを練り上げる際に使っています。ノートに記述する時間も大切にしながら、学びの道具として活用しています。

写真1



写真2



写真3

